

平成30年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

小学校 国語

(1) 偏差値

	知識	活用
宇佐市	51.7	51.2
大分県	51.7	51.1

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点				領 域			
	話す・聞く 能力	書く 能力	読む 能力	言語について の知識理解 技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文 化と国語の特質 に関する事項
目標値	60.0	56.0	71.6	70.4	60.0	61.3	75.7	71.3
宇佐市	62.0	67.9	73.9	81.1	62.0	77.4	78.1	81.2
県	62.4	67.2	76.3	79.5	62.4	76.2	80.9	79.7
偏差値	50.4	52.5	49.2	52.8	50.4	52.8	49.0	52.6

(3) 結果のポイント

- 教科合計・知識・活用において偏差値50を上回っている。
- 観点別・領域別正答率では、観点別「話す・聞く能力」「読む能力」領域別「話すこと聞くこと」「読むこと」について、県平均を下回っている。特に「読む」について差が大きい。
- 「漢字」「作文」については、概ね目標値を上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

①適切な言語活動とその充実が図られる単元設定

- ・つきたい力をつけるためにふさわしい言語活動であるか(吟味)
- ・多様な図書資料等が有効に活用されているか
- ・既習事項を活用する言語活動であるか。知識・技能の確実な定着を図っているか

②主体的な学びを促す「めあて」等の設定と指導に生かすことができる「より具体的な評価規準」の設定

- ・適切な「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の設定があるか
- ・「支援を要する状況」の児童への指導や支援は行われているか、その方法は有効であるか

③その他

- ・必要な言葉を使用し、言葉で思考を深めること
- ・言語活動の成果物の掲示等
- ・漢字や語句、文法、表現技法等の習得

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	51.6	51.4
大分県	51.8	51.5

(2)観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係
目標値	61.1	68.6	66.9	71.9	58.0	61.3	64.3
宇佐市	62.2	70.6	68.2	76.2	50.4	56.9	67.3
県	62.3	70.3	69.9	75.3	52.2	63.5	67.1
偏差値	51.4	51.8	51.4	52.0	50.0	50.8	51.3

(3)結果のポイント

- 偏差値50は上回っているが、「教科合計」「知識」「活用」において正答率・偏差値とも、県平均を下回っている。
- 「観点」では「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」「領域」別でも、「量と測定」「図形」領域で、県偏差値を下回っている。

(4)授業の改善のポイント

新大分スタンダードによる授業改善の徹底

- ①主体的な学びを促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定
- ②板書の構造化
児童の思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書
- ③習熟の程度に応じた指導
本時における児童のつまずきを想定し、個に応じた指導や支援を講じる。
 - ・机間指導による個別支援
 - ・習熟度に応じた複数の問題プリントの作成
 - ・学びの困難さに対する手立ての準備
- ④生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業

見通しを持ち、筋道立てて考え、表現する活動を重視した授業の充実

- ①筋道立てて考えたことを、過不足なく表現させるために、全国学力・学習状況調査「記述式」問題等を参考に、記述の形式を明確にして授業を行う。
 - ・事柄・事実の説明
 - ・方法・手段の説明
 - ・理由の説明

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	50.3	50.3
大分県	51.6	51.1

(2)観点別・領域別正答率

	観 点			領 域	
	科学的な思考・ 表現	観察・実験の技 能	自然事象について の知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球
目標値	63.6	70.5	71.3	70.7	68.5
宇佐市	63.9	73.9	73.1	71.5	71.0
県	66.3	76.9	75.3	73.8	73.5
偏差値	49.7	49.2	50.6	50.1	50.5

(3)結果のポイント

- 偏差値50は上回っているが、正答率・偏差値は、「知識」「活用」とともに目標値、県平均を下回っている。
- 観点別、領域別においてもすべて県平均を下回っている。

3. 授業の改善のポイント

(1)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。

- 生活経験をもとに根拠ある予想や仮説を立てさせる。
- 結果を整理し、その結果をもとに結論を導き出す。

(2)自然の事物・現象についての理解を図る。

- 自然の事物・現象の性質や規則性などに気づかせる。

(3)観察・実験の結果、図や表から読み取ったことを言語化して、考察、説明する学習の充実。

- 視点を明確にしながらか観察・実験の結果や観察記録を整理することを通して、共通点や差異点に着目しながら、気づいたことを考察したり、説明し合ったりする活動を充実させる。

(4)科学的に探究することを通して、学ぶ楽しさや成就感を体得させる学習指導の充実

- 課題設定の場面や実験後の考察等の場面における教え合いや意見交換を充実させる。
→一人では気づかなかった考えを深めたり広めたりできる。
- 日常生活や社会と関連した学習活動を充実する。
→自然の事物・現象に進んで関わり、理科を学ぶ意識や有用性を実感できる。

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	51.4	50.5
大分県	52.0	50.4

(2)観点別・領域別正答率

	観点				領域			
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
目標値	77.5	50.6	52.6	73.7	77.5	49.4	53.1	74.6
宇佐市	81.1	56.9	54.8	79.5	81.1	55.7	55.3	80.3
県	82.5	57.5	54.4	80.9	82.5	56.2	54.7	81.8
偏差値	49.5	51.8	50.0	51.3	49.5	51.8	50.0	51.1

(3)結果のポイント

- 知識、活用ともに偏差値50を超えているが、県との比較では、「知識」が下回っている。
- 観点別・領域別では、「読む能力」「読むこと」では、県を上回っているが、「話す・聞く」「言語」で下回っている。
- 「活用」については、すべて目標値を上回っている。また「記述式」問題は概ね良好である。

(4)授業の改善のポイント

- ①適切な言語活動とその充実が図られる単元設定を行う。
 - ・つきたい力をつけるにふさわしい言語活動であるか
 - ・多様な図書資料等の有効な活用を行っているか
 - ・既習事項を活用する言語活動であるか
 - ・知識・技能の確実な定着が図られているか
- ②主体的な学びを促す「めあて」等の設定と「具体的な評価規準」が設定されているか
 - ・適切な「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の設定
 - ・「支援を必要とする生徒への指導や支援は行われているか
- ③その他
 - ・必要な言葉を使い、言葉で思考を深める(既習の語句を意図的に使わせる)※「引用」「要旨」など
 - ・言語活動の成果物の掲示
 - ・漢字や語句、文法、表現技法等の習得
 - ・学校図書館の活用

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	51.7	49.7
大分県	50.9	49.7

(2)観点別・領域別正答率

	観点			領域				
	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象 についての 知識・理解	世界の 地域構成	世界各地 の人々の 生活と環境	世界の諸 地域	古代までの 日本	中世の日 本
目標値	45.8	51.3	54.0	56.3	51.7	44.3	52.5	56.3
宇佐市	50.4	54.5	58.0	58.3	58.0	45.2	57.4	64.4
県	49.1	53.9	56.7	56.1	56.3	47.3	55.5	59.8
偏差値	50.7	50.8	51.6	50.9	51.3	49.8	51.4	52.0

(3)結果のポイント

- 偏差値では、「教科合計」「知識」は50を上回っているが、「活用」で下回っている。
- 観点・領域において、「世界の諸地域」以外は偏差値50を超え、概ね良好である。特に「中世の日本」は大きく上回っている。 ※昨年は逆に「世界の諸地域」のみ下回っていた。
- 問題別では「世界の気候(雨温図)」「世界の宗教」「院政」「室町文化」などがよくできている。

(4)授業の改善のポイント

- ①主体性をもった学習活動となるような学習過程をイメージする。
 - ・具体的な事象を比較したり関連付けたりして、課題を捉えさせる。
 - ・解決に向けた見通しを持たせる。
 - ・学習の終盤で振り返り、表現させる。
- ②情報の取り出し、比較検討、表現までの過程での具体的支援・指導を。
 - ・情報の取り出しや整理の方法などについて生徒が自分の考えを持てるようにする。
 - ・他者との交流や図書などを使いながら、課題解決に向けて思考・判断・表現させる。
- ③個別の知識が関連づけられた知識になるような指導の工夫を行う。
 - ・「なぜ」や「どのような」を考える学習の過程を通じ、個別の事実としての知識を相互に関連付けられた知識にまで高めることで、学習内容の理解と個別の知識の定着を図る。
 - ・このような思考・判断・表現の仕方を、様々な場面で活用できる概念的なものとしてできるよう支援・指導する。

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	51.3	49.7
大分県	51.3	50.2

(2)観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	数学的な見方 方や考え方	数学的な技能	数量や図形に ついての知識・ 理解	数と式	図形	関数	資料の活用
目標値	48.1	60.8	54.1	66.4	57.1	51.1	49.0
宇佐市	50.5	66.8	61.1	71.2	63.3	56.8	56.0
県	50.9	67.5	60.1	72.9	63.4	55.4	54.8
偏差値	50.1	50.9	51.7	50.6	50.6	51.6	51.0

(3)結果のポイント

- 偏差値については「知識」「活用」ともに50を上回っているが、「活用」において県を下回っている。
- 観点別では、「数学的な見方・考え方」「技能」、領域別では「数と式」「図形」で県を下回っている。
- 「空間図形」「資料の散らばりと代表値」「比例・反比例」はよくできている。

(4)授業の改善のポイント

新大分スタンダードによる授業改善

- ①主体的な学びを促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定
- ②板書の構造化
生徒の思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書
- ③習熟の程度に応じた指導
本時における生徒のつまずきを想定し、個に応じた指導や支援を講じる。
 - ・机間指導による個別支援
 - ・習熟度に応じた複数の問題プリントの作成
 - ・学びの困難さに対する手立ての準備
- ④生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業

数学的な表現を用いて説明し、伝え合う活動を重視した授業の充実

- ①予想した事柄や事実を数学的な表現を用いて説明する授業
- ②問題解決の方法や手順を数学的な表現を用いて説明する授業
- ③事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	50.5	51.3
大分県	50.7	49.9

(2)観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象について知識・理解	エネルギー	粒子	生命	地球
目標値	50.1	58.6	57.5	46.1	58.5	58.3	58.3
宇佐市	51.8	55.5	59.5	41.7	61.0	62.1	58.6
県	50.1	55.1	59.4	40.9	60.2	60.5	60.4
偏差値	51.1	50.0	51.1	49.9	50.7	52.1	49.6

(3)結果のポイント

- 偏差値はすべて50を上回っている。
- 「活用」においては県を上回っているが、「知識」は下回っている。
- 観点、領域別においては、「地球」領域のみ、県を下回っている。
- 問題別では「植物の分類」「気体の性質」「水溶液の性質」がよくできている。
- ▲小問別では「植物の分類」「水溶液の性質」「光の性質」「力と圧力」「地層」で、目標値に達していない問題がある
- ▲問題の内容別で、「力と圧力」「地層」の正答率が、目標値をやや下回っている。

(4)指導の改善のポイント

- ①振り返りで学びの成果を実感させる。
 - ・振り返りの場面を確保する。(自分にとってどのような意味や価値があったかを実感させる。)
 - ・本時での学びを日常生活の中で活用できることを実感させる。
- ②理科の「見方・考え方」を働かせた「課題」「めあて」を設定する。
 - ・「見方・考え方」を働かせることが必要となるような「課題」を設定する。
- ③目的意識をもって観察・実験を行えるようにする。
 - ・自然の事物・現象の観察などを通して疑問をもつ。
 - ・見出した問題をもとに「課題」をつくり、予想を立てる。
 - ・課題を解決するための観察・実験の計画を立てる。
- ④科学的に探究することを通して、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる学習活動の充実

(1)偏差値

	知識	活用
宇佐市	49.4	49.3
大分県	50.7	50.6

(2)観点別・領域別正答率

	観 点			領 域		
	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	48.4	61.1	50.4	63.5	57.5	47.3
宇佐市	47.9	60.2	46.4	63.1	56.2	43.9
県	51.1	63.7	49.8	66.5	58.5	48.1
偏差値	49.8	49.0	49.5	49.1	49.5	49.4

(3)結果のポイント

- 偏差値は教科総合、知識、活用ともに50を上回っているが、すべてにおいて県を下回っている。
- 観点別・領域別でもすべて県を下回っている。

(4)授業の改善のポイント

- ①実生活に関連した課題などを通じて動機づけを行い、生徒の学びに向かう力を育成する。
- ②教室を実際のコミュニケーションの場とする。
- ③つけたい力を明らかにして指導と評価を行う。
- ④単元目標を達成するための言語活動を仕組む。
- ⑤基礎的・基本的な事項を確実に定着させるための指導の工夫を行う。
- ⑥文法については、言語活動と効果的に関連付けて指導する。

【小学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値%(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国	差
1	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	91.2	82.7	8.5
2	クラスや友だちの間で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言する方ですか	63.0	56.9	6.1
3	学校生活の中で何回くらい自分の意見を発表したり先生の質問に答えたりしていますか(肯定率…1時間の授業で1回以上とする)	66.1	52.2	13.9

▲全国を5ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	差
1	本当につらいことがあったとき、学校の先生に相談できますか	49.9	55.6	-5.7
2	いじめを見たり聞いたりして心を痛めることがありますか	68.8	77.0	-8.2
3	クラスの友だちの話題についていくのが大変だ、自分のよく知らない話題が出てくると不安だと感じるがありますか	75.4	81.4	-6.0
4	家で授業の予習や復習をしていますか	44.5	55.1	-10.6
5	自分のことが好きである	53.7	62.3	-8.6
6	学校に行くのは楽しい	75.4	86.3	-10.9
7	物語などを主人公の気持ちを思いながら読んでいます。	68.8	74.0	-5.2

○全体的に「規範意識」や「思いを伝える力」が高い。

○学習に対して萌向きであるが、自主的に学ぶ(家庭学習の計画や予習復習等)項目はやや低い傾向にある。

○「自分のことが好きである」「学校に行くのは楽しい」は、昨年度も挙がっており、「自己肯定感の低さ」や1・2・3項めと絡めて「友だちや教職員とのつながり」「魅力ある授業」などについて意識を強く持つ必要がある。小さなサインも見逃さないようアンテナを張り、教職員間、保護者等との連携も必要。

▲その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

1	平日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聴いたりしますか	3時間以上 20.5% 全国 20.0% 県 16.1% (H29…18.7% H28…21.7%)
2	土日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聴いたりしますか	3時間以上 30.7% 全国 31.3% 県 25.7% (H29…27.3% H28…29.5%)
3	平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 9.3%(全国 4.5 県 7.2) H29…7.4 2時間30分 3.6%(全国 2.0 県 3.7) H29…4.5 3時間以上 10.6%(全国 3.0 県 9.1) H29…11.6
4	土日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 9.0%(全国 7.8 県 10.0) H29…7.2 2時間30分 6.5%(全国 3.5 県 5.1) H29…7.4 3時間以上 17.4%(全国 7.5 県 16.2) H29…15.5

○昨年度、改善傾向が見られたテレビ・ビデオの視聴時間とゲームだが、時間が増加している。特に土日に長くなる傾向があり、小中連携したメディアコントロールの取組や保護者への啓発も引き続き必要である。

【中学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国	差
1	家の方は、あなたの気持ちを分かってくれていますか	87.4	80.8	6.6
2	あなたの気持ちを分かろうとしてくれる先生がいますか	79.1	72.9	6.2
3	勉強や運動、クラブ、習い事、趣味などで、自分なりに自信を持っていることがありますか	80.5	74.4	6.1
4	学校での日々の授業や活動の中で自分は人間として成長したな、少し大人になれたなと感じることがありますか	75.3	66.3	9.0
5	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	91.9	75.9	16.0
6	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか	78.5	69.7	8.8
7	学校に持っていくものは、前の日のうちに確かめていますか	77.1	67.9	9.2
8	家で週に何日くらい勉強しますか(肯定…ほぼ毎日+4~5日)	78.0	62.7	15.3
9	家で授業の予習や復習をしていますか	57.4	46.3	11.1
10	テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか	67.0	59.1	7.9
11	自分のことが好きである	52.9	43.5	9.4
12	学校に行くのは楽しい	86.8	80.9	5.9
13	家の人から言われなくても進んで勉強している	67.5	54.2	13.3

▲全国を5ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	差
1	いままでの人生で心から感動したことがありますか	48.2	53.7	-5.5
2	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして傷ついたことがありますか	56.7	63.2	-6.5

○全体的に肯定的な回答が多く、「学びに向かおうとする」様子や「自己肯定感の高さ」がうかがえる。

○「規範意識」「学習習慣」「社会参画」が特に高い。

○「対人ストレス」「いじめのサイン」がやや高く、生徒人ひとりの様子や友だち関係について、チームとして組織的な生徒指導が重要である。

▲その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

1	平日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか	3時間以上 21.5% 全国 22.9% 県 15.2% (H29…20.9% H28…24.4%)
2	土日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか	3時間以上 40.1% 全国 48.8% 県 36.9% (H29…42.1% H28…44.7%)
3	平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 12.1%(全国 5.1 県 11.9)H29…12.6 2時間30分 4.9%(全国 1.3 県 5.2)H29…3.7 3時間以上 15.5%(全国 2.9 県 13.0)H29…15.2
4	土日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 12.1%(全国 10.8 県 14.0)H29…12.6 2時間30分 4.9%(全国 3.6 県 6.7)H29…5.9 3時間以上 30.5%(全国 12.0 県 28.7) H29…28.9
5	平日1日当たりどれくらい携帯・スマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	3時間以上 9.2% (全国不明 県 6.9) H29…9.3%
6	土日1日当たりどれくらい携帯・スマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	3時間以上 13.0% (全国不明 県 15.5) H29…15.0%

○ゲーム3時間以上の割合が、全国に比べて、依然としてかなり高い。

○携帯・スマートフォンについては昨、平日・土日とも昨年度より減少している。

○テレビの視聴時間は、平日は微増だが、土日は徐々に改善傾向が見られる。引き続きメディアコントロール等の取組がさらに家庭に浸透していくことが望まれる。